

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 13 日

事務事業名		桜川市文化協会助成事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続		事務事業No. 030201000622	
		総合計画の施策名 0302 生涯学習・芸術文化活動の推進				単独/補助		090601	
政策体系		政策名 03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				主要事業		対象外	
		生涯学習・芸術文化活動の推進				市長マニフェスト		対象外	
		02 生涯学習・芸術文化活動の推進				未来PJ事業		対象外	
		01 生涯学習及び芸術文化活動機会の充実				合併建設計画事業		対象外	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		一般会計				単年度繰返し (年度~)			
会計		文化振興事業				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法根拠									

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> 市の文化振興、向上をはかるため、市文化協会への補助事業ならびに、岩瀬、大和、真壁支部の連携を図り、交流を深める。 岩瀬支部、大和支部、真壁支部それぞれの支部へ補助金を配布し、各支部の事業、活動への指導助言し、文化振興団体を育成する。 市文化協会広報委員会を招集し、文化協会の「文化協会だより」を編集発行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①加盟団体へ補助金交付申請・交付決定、実績報告 ②市文化協会理事会、総会(年1回)の開催 ③市文化協会支部内の連絡調整。 ④市文化協会広報委員会を開催し、文化協会だよりを編集し、印刷業者を印刷業者へ委託する。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 市の文化振興をはかるため市民文化祭の開催。 補助金を配布し、事業活動への指導助言し、文化振興団体を育成する。 市文化協会広報委員会を中心に文化協会の「文化協会だより」を編集発行する。 	総会	回数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	広報誌の発行部数	部	15,000.00	13,500.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
桜川市文化協会加盟団体および会員	加入している団体数	団体	94.00	90.00	94.00	94.00	94.00
	加入している会員数	人	1,203.00	1,179.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
市民の文化芸術への関心を促し、その向上および振興をはかる	新規加入団体の数	団体	2.00	3.00	1.00	1.00	1.00
	成果発表会の団体数	団体	92.00	90.00	61.00	61.00	61.00
	加入団体の事業数	団体	8.00	12.00	10.00	10.00	10.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入	事業費	財源内訳	千円	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
量	費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	700	700	700	700	700	700
	事業費計(A)	千円	700	700	700	700	700	700	
人件費	量	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	/
		述へ業務時間	時間	640.00	632.00	700.00	700.00	700.00	
		人件費計(B)	千円	1,857	1,833	2,031	2,031	2,031	
トータルコスト(A)+(B)			千円	2,557	2,533	2,731	2,731	2,731	

事業費の内訳	27年度事業費 実績(千円)			28年度事業費 予算(千円)		
	金額	千円		金額	千円	
19 負担金補助及び交付金	700			700		
合計	700			700		

(4) 当該年度の実施内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	桜川市文化協会助成事業	事務事業No.	30201000622	所属課	生涯学習課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 岩瀬・大和・真壁地区の文化協会が合併を機に桜川市文化協会を設立。市の芸術文化の向上、振興をはかるためにはじめた補助事業。市民文化祭を実施することで、支部間の交流会や、部門ごとの連携を行うようになった。平成28年度からは専門部ごとの活動となる。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 高齢化しているため、協会としての組織運営、庶務(事務)がむずかしく、事務局(行政担当)に協力、助言が必要。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市総合計画の政策に合致
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 規約をもつ団体として組織がきちんとしており、補助金を交付する条件(会員から負担金を徴収)を満たしている。文化行政施策、文化振興を支える貴重な組織である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 支部間の部門ごとの統一化、または連携をすることで文化内容の充実、文化振興をはかることができる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市の文化行政を支え、施策、計画等の指針となる組織の一つである。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 市民文化祭事業 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 市民文化祭実行委員会と連携ができる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 各支部の事業計画、予算に見合った補助金を計上している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 会員から負担金を徴収し、各団体の予算額にそって補助金を計上、交付している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・各支部の運営の自立化が進み、庶務ができるようになった。組織力を認識してもらう機会ができた。・部門交流や支部間の交流も行われ、文化振興の内容が深まった。・各支部の音楽関係団体が市民文化祭音楽祭の交流により、「市民音楽祭実行委員会」の立ち上げができた。芸能祭なども、横の連携がとれ文化の質が高めることができるきっかけとなる。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市民文化祭の交流を通じて、音楽や芸能関係団体は、横の連携が取れるようになった。一方、いけばな展など、「高齢化」や「会場の地域性」を理由に依然として支部独自性を地元開催に固辞する意識が見受けられる。意識や趣味の共有化、交流会など、統合または統一事業を展開できるよう、行政として指導助言を行っていく。平成28年度からの組織再編制に向け、会員の意識付けとして平成27年度の市民文化祭は、専門部ごとでの開催を実施した。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(6) 事務事業優先度評価結果																						
成果優先度評価結果 ①																						
コスト削減優先度評価結果 ⑨																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>